

障害者職業能力開発校における  
技術革新の影響と対応に関する現状分析

○大場 麗・原 圭吾（職業能力開発総合大学校 能力開発院）

## 問題と目的

- ・AI等の技術革新が急速に進展  
→障害者雇用の現場にも影響が波及
- ・障害者職業訓練においても技術革新対応が必要  
→訓練内容や支援体制の再構築

**問い** 障害者職業訓練を担当する指導員は  
技術革新の影響をどのように捉えているのか？

## 本研究の目的

障害者職業訓練指導員が技術革新によって訓練生の雇用にどのような影響が生じると認識しているのかを明らかにする

## 方法

調査対象者：障害者職業訓練校に勤務する指導員49名  
質問項目：吉川<sup>1)</sup>のモデルを参考に作成

	質問項目
代替	AI等の技術革新により仕事が代替され、訓練生の雇用機会が減少してしまう
分業	AI等の技術革新により仕事の一部が代替され、自動化されない細かな業務を人が補完する隙間業務の労働が増加する
就業期待	AI等の技術革新は訓練生の職業能力を向上させ、就職可能性を高める

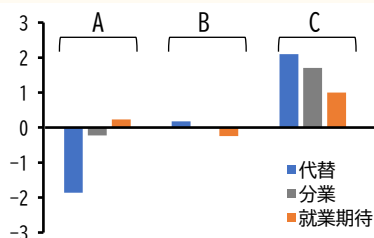
※「全くそう思わない」～「非常にそう思う」の7段階で回答を求めた

自由記述：上記項目への回答理由、今後必要な取り組み

## 結果

## 雇用への影響に関する認識

- ・クラスタ分析(Ward法)を実施  
→3つのクラスタを抽出



クラスタA (22人)：安定期待群  
クラスタB (17人)：慎重保留群  
クラスタC (10人)：変革予測群

## 予測理由

## 安定期待群 (22人)

- 新たな仕事生まれる
- 人手のいる業務が残る
- 付加価値の高い仕事に専念できる
- 技術革新により仕事が容易になる
- 働く満足度は無くならないため
- × 全ての企業が精通しているわけでない
- × 受講生によっては難しい、二極化する
- △ わからない(1件)

○肯定的  
×否定的  
△中立的

## 慎重保留群 (17人)

- AI導入による業務が生じる
- 業務を理解しやすくなる
- × 人的労働(単純作業・事務)は減少する
- × 企業で活用できるビジョンが見えにくい
- △ 雇用機会減少・マニュアル作業増加
- △ 能力は向上するが就職はニーズによる
- △ わからない等(6件)

## 変革予測群 (10人)

- 最終確認には人間が必要
- 福祉就労に近い形で残る
- 技術革新により仕事は容易になる
- × アナログ技術だと仕事は限られる
- × AI技術習得には時間がかかる
- × 臨機応変な仕事は特性によっては難しい
- × 大都市圏の求人ですでに変化が見られる
- △ わからない(1件)

## 必要な取り組み

- 新たな訓練の導入(10件)  
→情報リテラシー等
- 基礎的な訓練の継続(7件)  
→基礎PCスキル、ソフトスキル等
- 指導員の知識・技術向上(2件)
- 対外的視点の導入(2件)  
→外部講師の活用等
- わからない(1件)

- 新たな訓練の導入(10件)  
→AI活用法、実践に沿った訓練等
- 基礎的な訓練の継続(1件)  
→ソフトスキル、マナー等
- 対外的視点の導入(3件)  
→企業ニーズ調査等
- わからない(4件)

- 新たな訓練の導入(6件)  
→レベル別の訓練、IT人材育成等
- 基礎的な訓練の継続(3件)  
→ルーチンワークの訓練等
- 指導員の知識・技術向上(1件)  
→受講生の適性を見出す能力
- 対外的視点の導入(2件)  
→企業とタッグを組んだ訓練等
- わからない(1件)

## 分野別の各群の度数 ( )内は分野の%

分野	安定期待	慎重保留	変革予測	合計
ものづくり	7 (50.0)	3 (21.4)	4 (28.6)	14
非ものづくり	15 (42.9)	14 (40.0)	6 (17.1)	35
合計	22 (44.9)	17 (34.7)	10 (20.4)	49

※ $\chi^2(2) = 1.75, p = .417, n.s.$

## まとめ

- ・安定期待 > 慎重保留 > 変革予測群  
→全体として代替よりも就業期待に対して肯定的
- ・技術革新が障害を持つ訓練生の能力向上に役立つという共通認識  
→職業能力向上≠雇用機会増、社会ニーズとの適合性
- ・DX対応訓練推進とともに、既存の基礎的な訓練の重要性も指摘
- ・指導員の技術向上サポート、社会動向の把握の必要性

## 今後の課題

- ・障害特性別の雇用への影響に関する調査
- ・障害特性別の職業能力開発のあり方に関する調査

## 文献

1) 吉川雅也(2019). キャリア開発における技術と人の協働 -メタ・スキルとしての深化と拡張, 関西外国語大学研究論集, 109, 65-83.